

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可・否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 生 業	(ふりがな) なりわい	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	木 挽 (2)		
伝承地域	飯舘村大倉		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 会津地方では、モトヤマ (元山) と一般に呼ぶ。大工の板図から、木の伐採・削り・柱・桁・梁などをつくっていく。会津地方では、建前のときに謡い (うたい) を歌うなど、主要な役になる。只見町のモトヤマは、その職祖の由来や祭り方を記載した巻物を所持する。弟子離れに授かる場合が多かった。		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 原町の在から木挽が来た。親方一人に弟子二人位で一組だった。専門の木挽は仲間同士の礼儀が固く、鋸屑のあるところへいくと履き物を脱いで裸足になって親方の所へ行き、自分の生国を名乗った。そうすると、親方は腕試しに「ヤ」を作らせ、それで腕が分かった。		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	飯舘村教育委員会	電話 0 2 4 4 - 4 2 - 1 6 1 1	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)			※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵与願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢 生年月日	男 ・ 女	歳 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 生	
	住所・電話	〒	電話	
	職 業			
団体	団体名 (ふりがな)			
	代表者氏名 (ふりがな)			
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日	
	問い合わせ先			電話

【フリーフォーマット】

キーワード

会津地方では、この形の鋸をマエツピキ（前挽）と呼び、  
継挽きで板にするのに用いる。近江地方の鋸が多く流通  
していた。



(飯館村教育委員会)

伐採用の横挽きに用いる。この鋸はコミと呼ぶ刃と柄の間が  
長く、主に芯の部分を切るのに用いる（芯切鋸）。会津では、  
大木が多かったため、コミの長いものがある。別名、コミナ  
ガとも呼んでいる。